

藤野陽三 上席特別教授 「日本学士院賞」受賞記念講演

「橋からインフラにそして都市に -私の辿ってきた道と皆さんへの期待-」

日時: 6月25日(火) 16:30~17:50 (参加自由・申込み不要)

場所: 経済学部講義棟2号館1F 111講義室

祝賀会: 18:00~20:00 (同会場 1F ラウンジ)

(祝賀会に参加希望の方は IAS の事務局 ias@ynu.ac.jp までお問い合わせください)

共催: 先端科学高等研究院, 都市イノベーション研究院, 都市科学部

藤野 陽三 上席特別教授

専門分野: 橋梁の振動制御, 構造制御学

1972年 東京大学工学部土木工学科卒業。1976年 ウォータール大学博士課程修了、同博士研究員。1977年 東京大学地震研究所助手。1978年 筑波大学構造工学系助手・講師。1982年 東京大学工学部助教授(土木工学科)。1990年 同教授。2013年 東京大学名誉教授。2014年 横浜国立大学先端科学高等研究院上席特別教授(社会インフラストラクチャの安全研究ユニット) 2013年内閣府 SIP インフラプログラムディレクター。2007年 紫綬褒章。2015年 George Winter Medal、第85回報公賞(服部報公会)等。



選定理由 (日本学士院賞 Web サイトより引用)

橋梁などの長大な構造物においては地震や風などにより様々な振動が発生しますが、藤野上席特別教授は計測に基づき、いくつもの未知未聞の特殊な振動現象を発見、原因を解明し、その対策につなげました。例えば、橋の微小な揺れが群集の同期歩行に繋がり有意な振動に成長することを、画像技術を用いて世界で初めて明らかにしました。この研究は、その後2000年に発生した、橋の閉鎖につながるミレニアムブリッジ(ロンドン)の歩行者による過大振動を予測する先見的なもので、数理科学的な現象解明を先導しました。また、新しい制御方式、免震構造などの性能評価法を提案し、それらは内外の長大な構造物で幅広く適用されてきています。

日本学士院賞について

日本学士院賞(にっぽんがくしいんしょう)は、日本学士院が授与する1911年創設の賞であり、日本の学術賞としては最も権威ある賞である。過去の受賞者には江崎玲於奈、小柴昌俊、野依良治、本庶佑などのノーベル賞受賞者も名を連ねています。

本学現職教員による日本学士院賞の受賞は、初の快挙です。本学卒業生としては、藤嶋昭(1966年工学部卒)や相田卓三(1979年工学部卒)が本賞を受賞しています。

【問合先】IAS 事務局: ias@ynu.ac.jp 電話: 045-339-4454

横浜国立大学 先端科学高等研究院 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

